



寺だより

平成29年 極楽寺 お盆号



平成29年7月6日 大本山光明寺開山法要
並びに十夜法要御代理導師委嘱状伝達式
に行つて参りましたことご報告申し上げます。

檀信徒各家皆様には、益々ご健勝のことと存じます。また日頃より寺門繁栄にお力添えを賜り厚く御礼申し上げます。

命のみなもと ご先祖さま

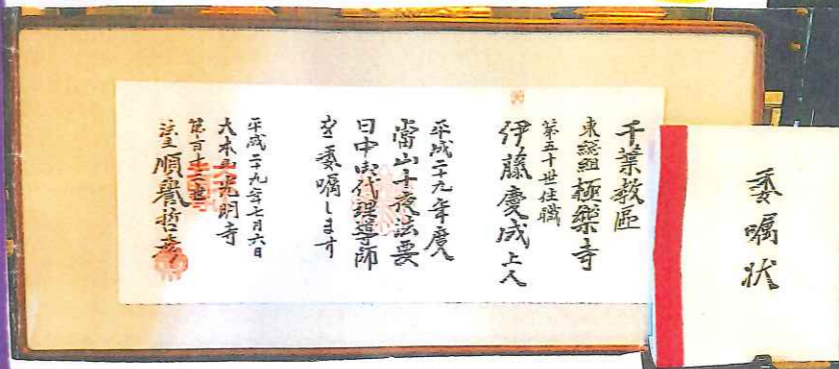
「ご先祖さま、お帰りなさい」。そんな声が聞こえてくる季節になりました。誰にでも必ずご先祖さまがいらっしゃる。

今ある私たちの命は、みなそれぞれのご両親からいただいたものですし、そのご両親の命は、そのご両親(私からみれば祖父母)から、その命はそのまたご両親(同じく曾祖父母)からいただいたものです。次から次へとさかのぼっていくことができます。そのように命を今に直接つないできた方々のなかで、すでに亡くなられている方々が、ご先祖さまだからです。

両親や祖父母といった近親の方々を亡くされたとき、その方々に対しては、それぞれに月参りや年回忌の法要が勤められますので、すぐにご先祖さまと呼ぶことはあまりありません。しかし、もちろんその方々も、私の命を今に直接つないできた方々という意味で、ご先祖さまであることにかわりありません。よく、「ご先祖さまを大切に」と言いますが、それは、かけがえのない命をつないできた方々に「感謝しなさい」ということをいいたいものです。それに今の私の命も未来の人々の先祖としてあるわけですから、とても大切なものです。命は決して自分一人のものではなく、過去の命と未来の命のちょうど真ん中、もともと大事な位置にあるということもできます。だからこそ、隣の人の命も、まったく同じに大切なものといえるのです。今ある私、私の家族は、先祖さまがあらばこそ、ご先祖さまに感謝の気持ちを伝えるためには、今の命を大切にすることが大きな務めでもあるのです。極楽浄土からお帰りになられますご先祖さまに思いをいたしてみましよう。



御法主さまよりの
伝達式に佳職
緊張しております。



ご法類、そしてご総代、寺族が
同席致しました。
おごやかな雰囲気感激致しま
した。

鎌倉光明寺様の本山お塔婆は9月20日まで受け付けておりますのでお申込み
よろしくお願ひ申し上げます。

お知らせ

施餓鬼大法要

8月17日(木曜日)

○諷誦(ふし回向)午前8時

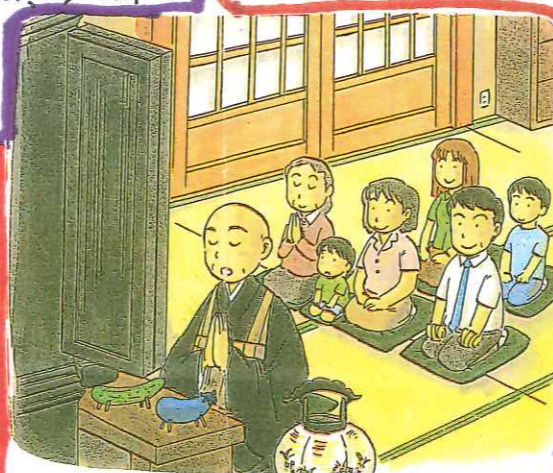
○附施餓鬼(とうば回向)午後1時半

{ふし回向料 1,000円}
{とうば回向料 3,000円}です。



住職からのお願い

平成29年11月16日~21日の6日間
四回目の指定布教を浄土宗御門主
様より奈良県へ命ぜられました。
その間(布教中)住職は留守致しま
すが副住職に任せますので
ご安心下さい。



お寺からのご案内やお知らせが届きます様に
新住所に変わりましたら恐れ入りますが
お寺まで必ずお知らせ願ひ申し上げます。
(電話、FAX、ハカキ等でお願ひします)

お檀家さまより、お寺の赤い玄関の不思議な理由を知りたいと申されましたので佳職より説明致します。この玄関は、江戸時代には緋色(佳職が身につける緋の衣の色)でありました。その当時から極楽寺住職の晋山(就任)には、この玄関よりまずお入りになって法火燈を豚々つつなげて参りました由緒ある玄関であります。私50代住職も18年前にこの玄関より入りました。今は、寺の行事や寺での法事の時出入して居ります。

今年は蓮の花がなかなか咲いてくれ
ません。(花芽がみあ
たらないのです)
少し心配ですが
「仏様のみぞ知る」と
いうことでお盆の頃を
待ちたいと思います。



ある人が公衆トイレで腰を下ろした途端、隣の個室から「元気が」と声がかかる。彼は戸惑いながらも、「はい」と答えた。すると「それはなににだ」と言われたので、彼は「うも」と返した。隣の人がさらに「今、何してる」と聞いてきたので彼は「トイレだけ」と答えた。すると隣は急に静かになり、そして小さな声が聞こえてきた。「隣のトイレに、おかしな奴がいるから、また後で電話するわ」



面白い話

